

# 平成26年度

## 登録左官基幹技能者認定試験問題（60分）

### 関東ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題（四肢択一法）

3. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
- (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- (3) 本冊子は、表紙を含めて9頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
- (4) 試験開始の合図で始めてください。
- (5) 解答の方法は、次のとおりです。
  - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
  - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。  
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
  - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
- (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

一般社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

**問題 1** 登録基幹技能者が建設現場で行う施工管理に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 品質管理
2. コストを主とする原価管理
3. 安全管理
4. 健康管理

**問題 2** 登録左官基幹技能者講習を受講するための要件に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 職長経験年数 3 年以上
2. 1 級左官技能士等の資格の保有
3. 総合仮設に関する資格の保有
4. 10 年以上の実務経験

**問題 3** 左官技能者の職階に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 「見習い」の左官技能者を「初級左官技能者」という
2. 「一人前」の左官技能者を単に「左官技能者」という
3. 「職長や親方」の左官技能者を「上級左官技能者」という
4. 「上級職長」の左官技能者で所定の講習会を修了したものを「登録左官基幹技能者」という

**問題 4** 国土交通省各地方整備局から提出された工事の成績評定点（平均）において、登録基幹技能者の配置効果が現れているものに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 安全対策
2. マイスター
3. 品質
4. 創意工夫

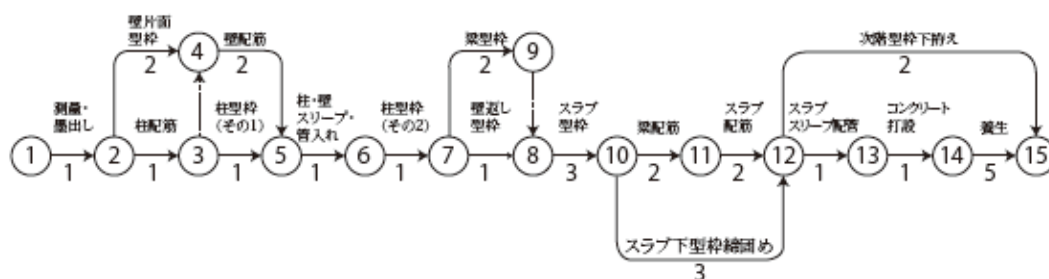
問題5 元請ゼネコンの登録基幹技能者における優秀職長または優秀職長手当制度の名称に関して、最も不適当なものはどれか。

1. T建設「優良技能者手当制度」
2. O建設「(通称) スーパー職長」
3. T建設「シニアマニア」
4. M建設「コンストラクション・マイスター制度」

問題6 OJT教育における指導方法において「見習わせる」、「経験させる」ことの内容に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 「見習わせる」時は、登録基幹技能者が模範を示すことが重要である
2. 「経験させる」ことは、数多くの失敗を繰り返すことが大切である
3. 「見習わせる」時は、やってみせることが効果的である
4. 「経験させる」ことは、成長の通過点となるものである

問題7 下図の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



1. この工程表は、ガントチャート式工程表である。
2. この工程表に示されている  $\textcircled{14} \xrightarrow[5]{\text{養生}} \textcircled{15}$  において、作業名は「養生」、所要日数は「5日間」、矢線(→)はアクティビティのことである。
3. この工程表に示されている  $\text{-----}\blacktriangleright$  は、「ダミー」である。
4. この工程表の○印の番号は、作業の順番とは無関係である。

**問題 8 建設業法遵守ガイドラインの内容に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 発注者と元請負人が交わす「請負契約」と同様に元請負人と下請負人との間で交わされる契約を「下請契約」という。
2. 建設業法遵守ガイドラインは、元請負人と下請負人との関係に関して、どのような行為が建設業法に違反するかを具体的に示したものである。
3. 建設業法遵守ガイドラインは、法律の不知による法令違反行為を防ぐ役割がある。
4. 建設業法遵守ガイドラインは、元請負人と下請負人との上下関係を明らかにし、このことにより取引をストップさせることを目的としている。

**問題 9 建設工事標準下請解約約款の「建設工事下請契約書」に記載されている内容に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 工事名
2. 工期
3. 支払代金の送金先の金融機関名と口座番号
4. 請負代金額

**問題 10 ブレーンストーミング(BS)の手法を用いて行う場合に関して、最も不適当なものとはどれか。**

1. 5~7人程度の人数で行うと、適切な情報をうまくまとめることができる。
2. 競争心により自由で活発な意見を得ることができる。
3. ゲーム感覚で誰もが楽しく話し合いをすることができる。
4. 化学反応により豊富で多彩な左官材料をつくることができる。

**問題 11 塗り壁の故障の組み合わせに関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 目地処理不足 — 付着不良 — 目地処理を充分行う。
2. 下地の吸水小 — はく離・ひび割れ — 吸水調整材を原液にする。
3. さび止めしない鉄部 — さび発生（せっこうプラスター） — さび止めを行う。
4. ドカ付け — ひび割れ — つけ送りを行う。

**問題 1 2 セメントモルタル塗り厚に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. セメントモルタルのつけ送り厚さが 25mm 以下でも、総塗り厚 35mm を超える場合は、はく落防止補強をする。
2. セメントモルタルの 1 回の塗り厚は、標準 9mm、最大 12mm で天井・ひさしは標準 4.5mm、最大 6mm とする。
3. 左官用軽量セメントモルタルの総塗り厚は、10mm 以下とする。
4. セメントモルタルの仕上厚は、天井・ひさしは 12mm 以下、その他は 25mm 以下とする。

**問題 1 3 住宅瑕疵担保責任保険設計施工基準の外壁の防水に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 通気構法において、外壁に用いる防水紙は、JIS A 6111 に適合する透湿防水シートまたはこれと同等以上の透湿性能および防水性能を有するものとする。
2. 防水紙の重ね合わせは、縦、横とも 90mm 以上とする。
3. 外壁開口部の周囲は、防水テープを用い防水紙を密着させることとする。
4. 直張りに用いる防水紙は、JIS A 6005 アスファルトルーフィングフェルトに適合するアスファルトフェルト 430 または透湿防水シートをとする。

**問題 1 4 ALC パネルの記載に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. ALC パネル下地は、工場でオートクレイブ（高温・高圧養生）した超軽量コンクリートパネルである。
2. ALC パネルは、厚塗りを行ってはならない。
3. ALC パネルの欠損部の補修には、反応硬化形で剛性・強度の大きな合成樹脂を用いる。
4. ALC パネルジョイント部は、パネル取付け構法に応じた所定の位置や、出入隅部、他部材との取合い部にも伸縮目地を設ける。

**問題 15** コンクリート表面の処理方法の組み合わせに関して、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 専用シートによる凹凸処理は、コンクリート表面に凹凸を付与し、それがモルタルに食い込むことにより、はく離を防止する。
2. 高圧水洗浄は、必要な粗さを設定でき、作業者によるばらつきが多いが、施工管理は比較的容易である。
3. ブラシ掛けは、施工の管理が曖昧となりやすく水洗いを併用する。
4. サンダー掛けは、施工のバラつきが出やすいので見本などを作製し管理する。

**問題 16** セメントモルタルの表面仕上げの記述に関して、**最も不適当なもの**はどれか。

1. タイルの接着剤張りの下地は、刷毛引き仕上げにする。
2. セメントモルタルによるタイル張りの下地は、木鏝仕上げにする。
3. 壁紙張り下地、防水下地は、金鏝仕上げにする。
4. 吹付け仕上げのセメントモルタル下地は、刷毛引きで粗面にする。

**問題 17** JIS A 6909（建築用仕上塗材）の仕上塗材の種類および呼び名の記述に関して、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 内装せっこう系厚付け仕上塗材 — 内装厚塗材G
2. 内装消石灰・ドロマイトプラスター系薄付け仕上塗材 — 内装薄塗材L
3. 内装水溶性樹脂系薄付け仕上塗材 — 内装薄塗材W
4. 外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材 — 外装薄塗材C

**問題 18** せっこうボード下地の適用仕様に関して、**最も不適当なもの**はどれか。

1. せっこうボードの取付けの釘の間隔は、180 mm以下とする。
2. 開口部の出隅には、継ぎ目を設けないように一枚のボードを切り搔いて割り付ける。
3. せっこうラスボード（GB-L）は、厚塗り仕上げに適している。
4. せっこうボード（GB-R）は、薄塗り仕上げに適している。

**問題 19 施工管理とその目的に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 施工管理の目的は品質（より良く）、工期（より早く）、価格（より安く）の三要素に集約することができる。
2. 安全管理は、労働者及び第三者の安全を守ることである。
3. 環境保全管理は、工事による環境への影響を最小限に抑制することである。
4. 円滑な施工管理を行うには、社会的制約にとらわれず、施工計画に基づいた管理を行う。

**問題 20 施工計画における基本計画に関して、最も不適当なものはどれか。**

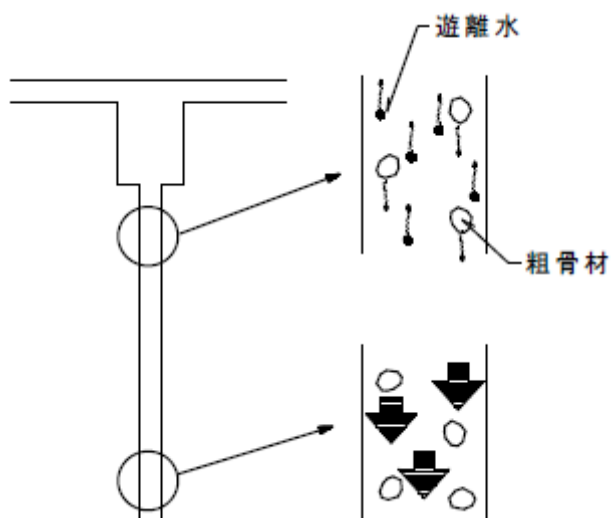
1. 複数の施工方法から施工手順・施工方法を決定する。
2. 全体工期、全体工費に及ぼす影響の大きい工種を優先して考える。
3. 全体の工程とバランスを考慮し、間に合わないようであれば、一時的に作業を集中させる。
4. 繰り返し作業により習熟を図り、効率を高める。

**問題 21 資材管理における発注計画に関して、最も不適当なものはどれか。**

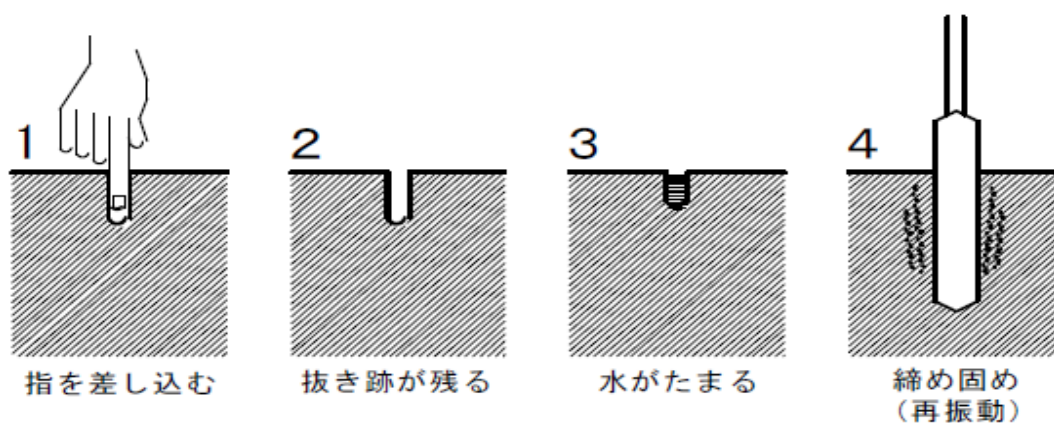
1. 工事概要や施工の制限及び条件を理解し、施工範囲を確認する。
2. 技術者との協議により施主・契約先の要望等を確認し、発注先決定の参考とする。
3. 資材の搬入方法、車両の乗り入れ規制等、事前の調査を行う。
4. 見積内訳書を確認し、発注計画を立てる。

問題 2 2 下図のようなコンクリートの特徴に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 図一1の上部のようにコンクリート打設直後から遊離水とよばれる硬化に不要な水がコンクリート中を上昇することをブリージング現象と言う。
2. 遊離水はコンクリートが硬化する前に全て上昇し、コンクリート中には残らない。
3. 図一2のように、まだ固まらないコンクリートに指を差し込むと遊離水がたまる。
4. 図一2のように、硬化後（打設後15～30分後）再振動をかけると不要な水や空気を強制的に追い出すことができ、効率の良い締固めができる。



図一1



図一2



**問題 2 3 わが国の建設業における労働災害の現状についての次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。**

1. 労働災害とは、労働者が就業中に負傷、疾病、障害、死亡する災害のことをいい、通勤途上のそれは労働災害とはいわない。
2. 労働災害発生率は他産業と比べて建設業の方が高い。
3. 建設工事全体の死亡事故の型別でみると、墜落による事故が 45%と圧倒的に多い。
4. 建設業の安全対策が難しい理由の一つとして、建設物が同じ場所に同じ条件で同じものをつくることのない単品受注生産であることが挙げられる。

**問題 2 4 法で定められた建設現場における安全管理についての次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。**

1. 複数業者が混在する現場の 1 次下請けや 2 次下請けの業者は、安全衛生責任者を選任する必要がある。
2. 作業主任者の配置が必要な作業として、高さ 1.2m 以上の足場の組立または解体の作業がある。
3. 労働者数が常時 50 人以上いる事業場の場合、産業医を選任することが必要である。
4. 現場では、整理、整頓、清潔、清掃の「4S」に努め、廃棄物は決められた場所に捨てることを徹底する必要がある。

**問題 2 5 各種労働災害防止対策についての次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。**

1. 既存建築物は石綿が使用されているものも多く、その建築物の解体工事では石綿による健康障害防止対策を講じる必要がある。
2. 熱中症予防対策として、WBGT（暑さ指数：湿球黒球温度）値を使用することが有効である。
3. 移動式クレーンのアウトリガーの張り出しは、安全のため極力、最小にする必要がある。
4. 高さ 2m 以上の所で 足場作業や鉄骨作業などを行う場合、作業床を設置しなければならない。これが困難な場合は、落下防止ネットを張り、作業員に安全帯を使用させる必要がある。